



# 飛騨っ子

令和4年11月21日 発行 NO9  
飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係  
家庭教育推進専門職：水口 悟  
TEL：0577-33-1111 (内線 235)  
E-mail：mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp



## チームとしての子育て支援



### 1 飛騨市子育てネットワーク部会による研修【参集型】 家族の大切さ

現在の家庭教育を取り巻く状況

約7割の保護者が  
子育てに悩みや不安を抱えています。



#### <① 県の家庭教育支援に関わる情報>



#### <② みつけよう みんなのステキなところ!>

◇ みんなで、交流しましょう!

- Q1 飛騨市の子どもへの願い
- Q2 飛騨市の子育てへの願い
- Q3 現在の立場で大切にしていきたいこと

#### <③ 飛騨市の子育て・家庭教育支援に向けて>

- ・今の岐阜県や飛騨市の現状がよくわかり、家庭教育の大切さを改めて知ることができました。グループ内のいろいろな立場の方の意見を聞くことで、今、自分の立場で何ができるのか、何をしなくちゃいけないのかを考える良い機会となりました。今、飛騨市では独りで悩んだりしないようなネットワークができています。これからもこのネットワークをフル活用して、悩む保護者の方が少しでも減っていくように頑張りたいと思います。

飛騨市の「子育てネットワーク部会」は様々な立場の方で構成されています。立場を超えて交流し続けていることは、地域全体で家庭教育を応援する気運の高まりと動きの広がりにつながります!

○期 日：令和4年10月26日(水)

○会 場：古川町公民館 ○対 象：部員(約30名)

○テーマ：「飛騨市子育てネットワークのさらなる充実に向けて」

○講 師：家庭教育推進専門職

飛騨市の生涯学習推進会議は4つの部会から構成されています。その中の一つに「子育てネットワーク部会」があります。コロナ禍により、部会のメンバーが集まり、研修会を開催するのは2年ぶり。「久しぶりに会えて嬉しかった!」という感想通り、会場に入るなり皆さんの会話が弾みます。笑い声や笑顔のある部会には繋がりがありません。研修の内容は、次の3つとしました。①県の家庭教育支援に関わる情報 ②わが子育てを見つめる機会をつくりましょう! ③飛騨市の子育て・家庭教育支援について。②③のワークショップでは楽しくも熱心に意見交流が進められました。

#### (参加者の感想)

- ・今日の講話から学ばせていただくことがたくさんありました。「子どもを取り巻く環境と現状」「飛騨地区また飛騨市内の保育園・小中学校において、様々な家庭教育学級の取組がこんなに多く実践されていること」等々。今後の活動に活かせることばかりでした。

## 2 飛騨市 双葉保育園 絵本の読み聞かせ【在宅取組型】 思いやり 自立心



双葉保育園 保護者の皆様

令和4年9月吉日  
双葉保育園保護者会  
会長

第2回幼児学級のご案内

賑やかな夏も終わりに近づき  
少しペースを落としてゆっくり過ごしたい頃ですね。  
まだまだ日は暑く、読書の秋には早いかもしれませんが  
子どもたちと一緒にゆったりとした時間を過ごしませんか。  
第2回幼児学級では  
「ふたばっこのお気に入りの1冊」  
と題してご家庭で絵本を楽しんで頂きたいと思っております。  
お忙しいと思いますが、気楽に、出来るときに、  
今だけの読み聞かせを一緒に楽しめたらと思います。

1 日程 令和4年9月5日(月)～9月9日(金)  
2 内容 絵本の読み聞かせ(在宅取組型)  
9月12日(月)に3枚目の用紙を園に提出して下さい。

※未就園児のお子さんがいらない方へ。  
11月に親子ヨガを企画しています。  
その際、託児を準備できないか相談しているため、希望する方の人数を把握させて頂きたいと思っております。保育して下さい方も少ないため、ご家族に相談することを優先して頂き、難しい方は3枚目の記入欄に人数とお子様の年齢をお書き下さい。

○テーマ ふたばっこのお気に入りの1冊

○期間 9月5日(月)～9月9日(金) ○対象 全園児

### ◇気軽に読み聞かせ

・読むのも勝手、聞くのも勝手

途中でどこかについてしまっても、大丈夫。気にせず、読んじやいましょう。子どもは意外と聞いていたりして!こちらが途中でやめると、何で読まないの?なんて言われるかも知れません。

・読み聞かせが「つらい」

絵本を読むのがしんどい日は無理して読まない。休んで、明日以降の余裕があるときに。(案内資料より)

### ・飛騨市幼児学級運営会議の存在

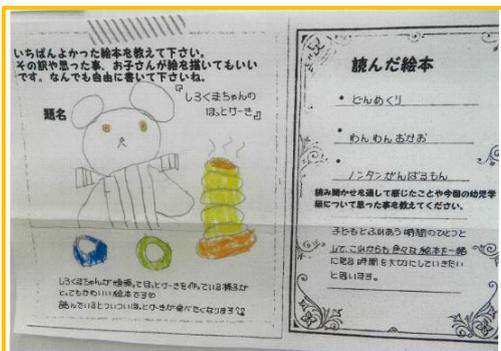
今年度、コロナ禍により2年ぶりに開催された「飛騨市幼児学級運営会議」により、市内の各園では幼児期における家庭教育学級が楽しく取り組まれています。年度初めに役員皆さんが一堂に会し、取組の意義や方法、各園の計画などを交流していることが、市内保育園全体の家庭教育学級への前向きな気持ちを生み出しています。

### ・普段から、親のつながりを大切にしている

役員皆さんがともに案内をつくったり掲示を整えたりするネットワークが素晴らしい。地域の中で孤育てさせない気運の醸成につながります。園長さん曰く「以前からそういったつながりを大切にしている地域です」と。「今年は役員だから」という意識を超え、お互いの子育てをかけがえのないものと感じ、大切にしようという姿が素晴らしい!

### ・家庭教育学級のテーマ設定は、普段の取組から

日頃から行っている園の読書活動を活かした取組が、保護者の皆さんにスムーズに受け入れられたそうです。お気に入りの1冊は、園内にあるちびっこ図書(一週間の本の貸出し)・家庭にある本から自由に選び、無理なく取り組めるように配慮されています。在宅取組の様子を園の行事等に合わせて掲示することで、各家庭の取組の様子を共有することができ、学びやコミュニケーションが生まれます。大好きな先生からのオススメも楽しい!保護者皆さんと先生方の一体感が伝わってきます。



<お気に入りの1冊 実践カード>



<みんなで作成した掲示>

### ◇みんなの大好きな先生から、オススメの1冊

- ・園長先生・・・ はじめてのおつかい、葉っぱのフレディ
- ・ゆりくみの先生・・・ ぱなしくん
- ・たんぼぼくみの先生・・・ ぼくのねこ
- ・すみれくみの先生・・・ しゅくだい
- ・ほかにも!・・・ ペンぎんたいそうなど、読みながら体を動かすもの (案内資料より)

### 3 下呂市家庭教育支援チーム

○期 日 11月1日(火) ○会 場 下呂市 金山町民会館



#### ・下呂市の家庭教育支援チームの存在

交流会の名称は、赤ちゃんカフェ・子育てカフェです。  
13年間の取組の成果が評価され令和元年度に「文部科学大臣表彰」を受賞しました。スタッフは地域の先輩ママたち7名。「‘下呂市で子育てできて良かった！’という思いをもってもらいたい」と、活動を続けています。

#### ・令和4年度の活動

今年度も、広範囲な下呂市内の萩原・下呂・金山地区にある5つの施設を会場とし、年間25回のカフェ(交流会)を計画・実施しています。並大抵のことではありません。カフェ終了後、メンバー皆さんが今日の活動内容を熱心に振り返り、今後につなぐ姿もすばらしい。コロナ禍、思うように活動ができない中だからこそ大切な時間です。

また、下呂市地域振興課の担当者が、参加者またメンバーの一員として心を寄せ参加されています。下呂市の家庭教育支援チームを持続可能にするために市行政の存在は、重要な役割を果たしています。活動を続けるためには、まずチームの皆さん自身が「楽しい！」ことが一番です。



<楽しい交流会 赤ちゃんカフェ>

#### ・下呂市の宝物

「同じ月齢の子を持つお母さんの話が聞けて、自分と同じような悩みがあったので、自分だけではないと思いき安心できました。」(参加者の感想)

一時的に収まりつつあったコロナ禍でも、わが子の万一を考えると足が遠のくのが現状です。今回は、久しぶりに数組が参加され、その中には岐阜市や可児市出身の方もみえました。不安や悩みを抱えたまま孤立しないよう、家の中に閉じこもらず外の空気を吸うことは大切なことです。



#### Q 家庭教育支援チームとは？

A 核家族化や地域の社会のつながりの希薄化等を背景として、子育ての悩みや不安を抱えたまま保護者が孤立してしまうなど、家庭教育が困難な現状が指摘される中、文部科学省では、地域人材を活用した「家庭教育支援チーム」等による身近な地域における家庭教育支援活動を推進しています。(「家庭教育支援チーム」の手引き書 H30.11 文部科学省 参照)

#### ◇ お知らせ … 配布と有効活用を！ … デザインや内容が新しくなりました！！

11月下旬に、県より飛騨地区内の小・中・義務教育学校に【中学校版】「話そう!語ろう!わが家の約束」運動の啓発チラシが届きます。

岐阜県では、新しい年の出発にあたる1月を、「家庭の日」普及実践強調月間としています。「話そう!語ろう!わが家の約束」運動が、皆様のご家庭のあたたかく希望に満ちた会話が弾みきっかけとなれば幸いです。



4 新しい子育て講座の実践 【子育てサロン型+在宅取組型】 自立心 自制心  
 子育て講座 テーマ「スキンシップの大切さ」

県の資料を組み合わせ、  
 子育てママの学習会を開  
 催しました!

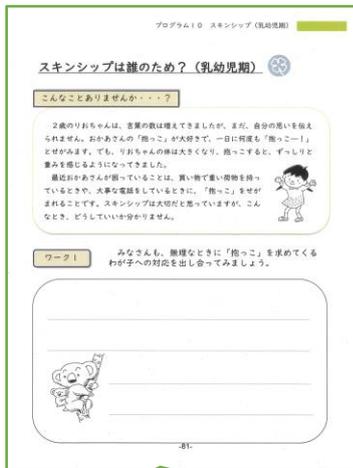


(1) 視聴(5分)・・・家庭教育について学ぶ動画「抱っこのすすめ」

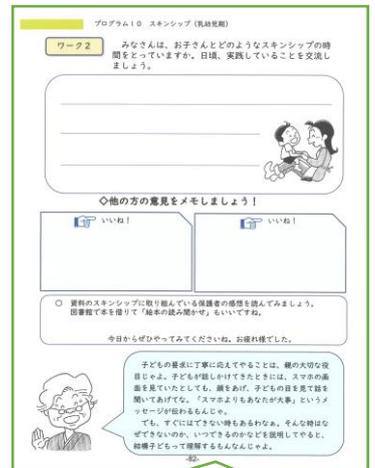


家庭教育について学ぶ動画  
 13 「抱っこのすすめ」  
<https://youtu.be/bZ5MY8Za14U>

(2) 交流(各10分)・・・家庭教育プログラム(乳幼児期編 みんなで子育てII 10.スキンシップ)の活用



< ワーク1・2 についての交流 >



◇ ワーク1  
 みなさんも、無理なときに「抱っこ」を求めてくるわが子への対応を出し合ってみましょう。

◇ ワーク2  
 みなさんは、お子さんとのようなスキンシップの時間をとっていますか。日頃、実践していることを交流しましょう。

(3) 在宅取組への呼びかけ



・8月下旬、下呂市子育て支援拠点事業担当者会にて話題となった「子育て講座」が、上原子育て・保育ステーションで実践されました。(通信【飛騨っ子】NO6 参照)ポイントは、①学習会とし「学び」を大切にしたこと②ワーク1・2では、それぞれに書く時間をとり交流する時間をたっぷりとしたこと③進行は、2人(センター職員と行政職員)で分担したこと④地域の方も加わり一緒に交流したことです。学習会が進むにつれ、徐々に会話が弾み笑顔が増えていきました。学習テーマについて学び、学んだことからわが子育てへの思いを様々なに話す時間は大切です。担当者会皆さんのチーム力の賜物です!

(参加者の感想)



新生児の頃から「抱っこ」ばかりでしたが、やっぱり幸せでした。  
 私は、今も「ぎゅ〜」が大好きな時間です。いつまで「ぎゅ〜」をさせてくれるかわからないので、これからもたくさん「ぎゅ〜」します!

7日分のシールまたは色塗りが  
 できたら提出してね